

第3章 計画の基本的な考え方

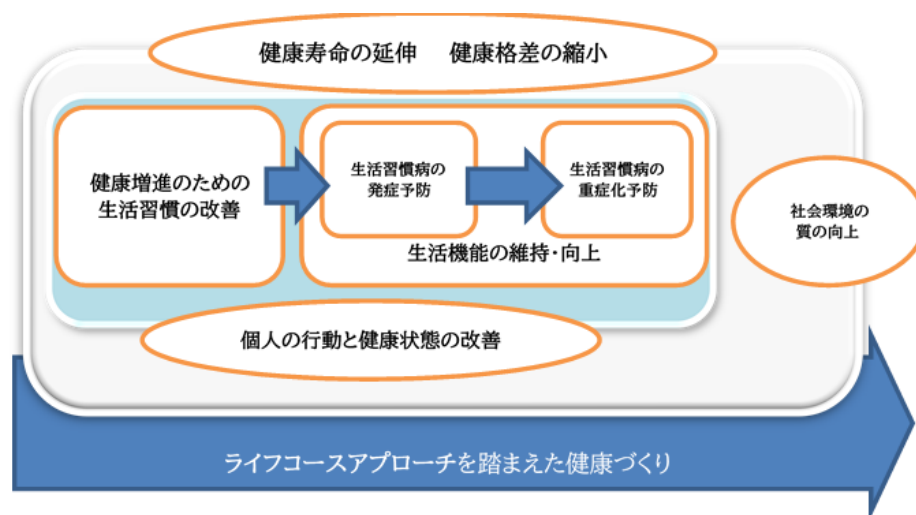
1. 基本理念

第6次南陽市総合計画における計画大綱（基本目標1）に「健やかで安心な暮らし・子育てを実現する②健康づくりを促進する」と掲げており、すべての住民が生涯にわたり健康に過ごすことができるよう、市民の健康管理や心身の健康増進を図ります。その実現のために、「健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」を基本理念とします。

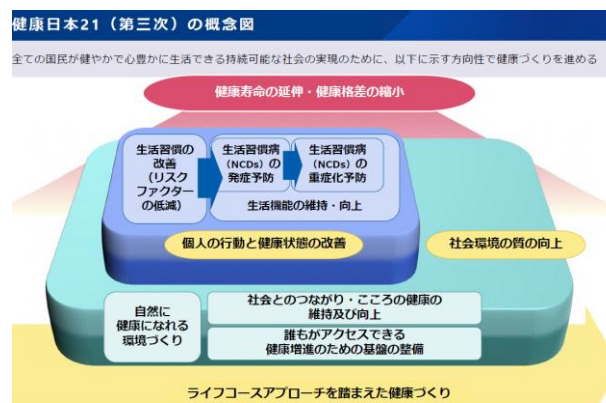
2. 計画の基本方針

市民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のため、本市のこれまでの取り組みを踏まえ、引き続き健康づくりに係る基本方針を健康寿命の延伸と健康格差の縮小とします。

社会環境の質の向上を図りながら、個人の行動と健康状態の改善を基本として、生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防、重症化予防により、生活機能の維持・向上を図るほか、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを推進します。



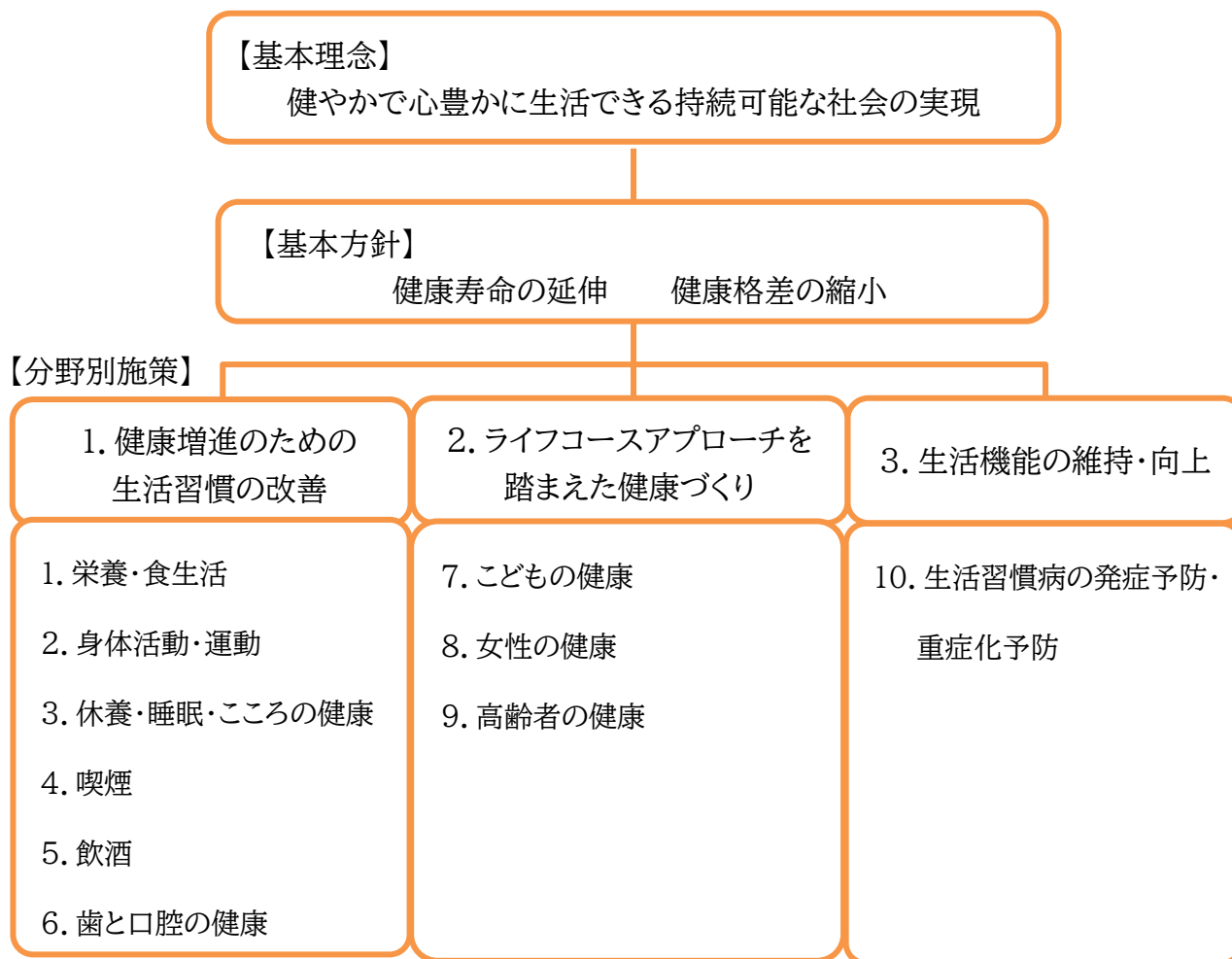
(参考・国)



3. 計画の体系

「健康増進のための生活習慣の改善」「ライフコースアプローチ※1を踏まえた健康づくり」「生活機能の維持・向上」の3つの分野別施策により、本計画に掲げた目標の実現に向け、市民一人一人が主体的な取り組みができるよう行政、保健・医療機関、学校、家庭、地域組織、ボランティア、職場等が連携・協働を図り、健康づくりを行います。

また、健康増進のための生活習慣の改善のためにライフステージ※2ごとの具体的な取り組みを進めていきます。



※1 ライフコースアプローチ：胎児期から高齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉えた健康づくり

※2 ライフステージ：人の生涯における各段階

ライフステージ

乳幼児・学齢期	青年期・壮年期	高齢期
0～18歳	19～64歳	65歳～